



干支の絵・デザイン：瀧川秀敏

市民の皆さま、あけましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

今、十勝・帯広は、不透明さを増すグローバル経済の潮流の中で、少子高齢社会への対応や災害復旧など、乗り越えなければならぬさまざまな課題に直面しています。

これまで、十勝の皆さまとの強い結び付きの下、「フードバレーとかち」を旗印に、農林漁業を成長産業にし、食の価値を創り出し、さらにはその魅力を広く発信することで、地域活力の向上につなげる取り組みを進めてきました。こうした積み重ねに加え、消防の広域化や地域医療体制の構築など、安全・安心な暮らしづくりに真正面から向き

合ってきた十勝・帯広は、道内の他地域に比べて、安定した人口、産業経済力を維持しながら、地域の強みや資源をいかした地方創生の先駆けとして期待されています。

今を生きる私たちが、先人が重ねてきた歩みに学び、未来に向かって、十勝・帯広の新しい歴史をつくり上げていくため、この地域の明るい可能性を信じながら、直面する課題をチャンスに変え、自らやりきる覚悟をもって挑戦し続けなければならないとの決意を新たにしているところです。

十勝・帯広の限らない発展のため、市民の皆さまと共に、今年も全力で取り組んでまいります。

**十勝・帯広の可能性を信じ
たゆまず挑戦**

帯広市長 **米沢 則寿**



**すべての市民が輝き
誇れるまちの実現**

帯広市議会議長 **小森 唯永**

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには希望あふれる輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年の十勝・帯広は、相次いだ台風の影響により、基幹産業である第1次産業への被害は特に甚大なものとなりました。また、河川敷地の芝生広場や運動施設などが利用できなくなるなど、今なおさまざまな場面で市民の暮らしに影響を及ぼしています。議会といたしましても早急な復旧作業に取り組めるよう、全力で対応してまいる所存です。

さて、帯広市議会では議会基本条例に基づき、分かりやすく開かれた議会運営に努めております。昨年は、高校生を対象とした意見交換会を行いました。

い、すべての市民が輝き誇れる「おびひろ」のまちの実現に向けた多くのご意見をいただきました。帯広市の将来を担う若者との意見交換の大切さを改めて感じたところです。

近年、地方議会には、住民を代表する意思決定機関の役割だけでなく、住民の意思を反映した政策立案機能の強化が求められており、我々が果たす役割はますます大きくなっていくものと考えております。今後ともこうした役割に十分応えていく所存でありますので、市民の皆さまには変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして健やかで幸多い年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

Public Information

OBHIRO

広報おびひろ

平成29年
(2017年)

1

No.1112 January

発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

11月末の人口と世帯数

人口 ▶ 168,159人
(前月比-113人)
男 ▶ 80,197人
女 ▶ 87,962人
世帯 ▶ 86,572世帯
(前月比-57世帯)

11月の火災発生件数

3件 (前月比+1件)

11月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,067t
(前年同月比-42t)
資源ごみ(Sの日)量 579t
(前年同月比+31t)

今月の紙面

新春対談2017
..... 2~4

帯広畜産大学 学長 奥田氏と、これまでの経験、十勝・帯広の価値や可能性を語ります。

お正月はばんえい十勝へ
..... 5

サービスが広がる
マイナンバーカード ... 6

冬の災害に備える 7



十勝・帯広のおおらかさにこそ価値がある

今年は、帯広畜産大学 学長 奥田 潔さんを迎え、米沢市長とこれまでの経験や、大学と帯広市の取り組みから見えてくる、十勝・帯広の価値や可能性について語っていただきました。(帯広畜産大学にて)

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

二人の共通点 3つの「ふるさと」



市長 奥田学長が母校の学長に就任されてから、早いもので1年がたとうとしています。その間、二人でじっくりと話す機会が持てずにいたので、本日の対談をとても楽しみにしていました。

奥田 実は、私と奥田学長の、ある共通点を見つけたんです。それは、「生まれ育ったふるさと」「都会というふるさと」、そして「海外というふるさと」。この3つの「ふるさと」を持っていることです。私は高校までを帯広で過ごし、法律の勉強をするため札幌の大学

に進学し、最初の就職地は東京でした。その後、海外勤務となり、中近東のアブダビ、アフリカのアルジェリア、イギリスのロンドンと、海外で8年程生活しました。

奥田 私は岩手県盛岡市生まれの京都育ちです。京都で18年間を過ごした後、帯広畜産大学（以下、畜大）の獣医学科の学生として帯広で生活しました。学生時代に交換留学生としてドイツに渡り、帰国後は畜大の教員として帯広に戻り、帯広には学生時代と合わせて11年間いました。その後、岡山で大学の教授として27年間暮らし、今回、再度のご縁で帯広に来るようになりました。

市長 ドイツに留学を決めた理由は何だったんですか。

奥田 大学生のとき、当時の西川義正学長には、ご自身の研究分野の先進地であるドイツに、畜大生を行かせて学ばせたいとの思いがありました。そこで、学長と同じ研究分野であった私は、ゼミの先生から「奥田、選考試験を受けてみないか」と言われたんです。当時、私は空手道に夢中で、それなりの成績を残すくらい一生懸命やっていたんです。でも、このままでは就職できないだろうと思っていたときに、その話をいただきました。受けたら受験者が私一人で。即決まりました。

二人（笑）

市長 私と似ているなと思いました。私は中学から大学までずっとバレーボールをやっていました。いわゆる体育会系です。

その後、大学に残る準備をしていましたが、就職試験も受けてみようと思った。いくつかの会社の面接に行きました。その中の一社、石川島播磨重工業（現IHI）の受験者が圧倒的にとがっていたというか面白かった。そこで大学の先生に相談したら「法律ばかりにならないように1、2年、社会経験してきたらどうだ」と言われて就職したという経緯があります。

奥田 なるほど。お互いに先生の助言が、自分の決断の後押しになっていますよね。

市長 当時、ぼんやりと自分がやりたいものは持っていました。今から思えば、まだ世の中を分かっている学生時代の頃で、先生の言葉に背中を押されて決断しました。一見すると主体性が無いようですが、今振り返れば、その時々の流れや環境にあらうことなく、素直に受け入れることも重要ではないかと思えますね。



海外で意識した 日本人の自分



奥田 私はミュンヘン大学で学位を取った後、同大学の助手をしながら獣医師として家畜病院で働き、ドイツで7年間を過ごしました。

博士課程の学生だったとき、語学もできない中で、大学ではみんなが集まるコーヒーの時間が朝と午後にあるんですが、そのたびに仲間の学生から「お前は何のために来たんだ」と言われました。当時、明確な目的意識を持っていなかった私はそれに答えられず、とても歯がゆい思いをしていました。まさか、「先生に行けと言われたから」とも言えないですし。

二人（笑）

奥田 私の専攻は臨床繁殖という人間という産婦人科の世界なのですが、ある日、心を決めて「研究者になるための勉強に来たんだ」とみんなの前で言い切りました。すると、自分の考えを明確に口に出したことが周りの後押しをもらいうきつけとなつて、学位取得時に、先生から「さあ、次はどうする」と言われ「日本の研究室の教授になりたい」と言うと、「じゃあ、

獣医師の資格を取って修行しなさい」ということで獣医師の資格を取り直すというふうになり、どんどんレベルができたという感じでした。

市長 口に出したことで、人生が切り開けていったわけですね。

奥田 ミュンヘンの語学学校ではさまざまな国の人たちが学んでいました。語学学校の試験での出来事なんです。男尊女卑について自国の現状を説明しなさい」と言われたんです。アメリカ人やフランス人など、彼らは自国の歴史や文化を踏まえて説明していましたが、私は答えるのに大変苦労しました。語学ができないから語れないのではなくて、日本の歴史や文化を知らないから語れなかったのです。自国をきちんと知ってこそ、他国を理解できるのだということを感じました。

市長 私も20代で海外に出て、何が経験になったかと考えると、やはり文化・歴史・人種の違いを感じ、特に自分が日本人だということを感じ意識させられたことです。

ロンドン駐在の6年間、ある世界有数の投資銀行の役員会に定期的に参加していました。彼らの話についていこうと、英語の経済紙や雑誌を必死で読み込んでいたが、質問されるのは「日本の税制はこういう場合どうなのか」「日本では民営化はどのくらい進んでいるのか」ということばかりです。相手は日本人としての私の考えや知見を聞きたいわけです。

これをきっかけに、日本の雑誌を取り寄せて、英語で説明するにはどうしたらいいか、その作業に時間をかけるようになりました。まずは、日本人であることの自覚からのスタートでした。



帯広畜産大学

学 長

おくだ
奥田

きよし
潔さん

岩手県盛岡市生まれ。1977年、帯広畜産大学畜産学部獣医学科卒業。ミュンヘン大学獣医学部大学院博士過程修了。京都大学で農学博士の学位を取得。ミュンヘン大学、帯広畜産大学の助手を経て88年に岡山大学助教授、98年同大教授。農学部の学部長などを歴任。前任は同大大学院環境生命科学研究科教授。

に迷惑をかけないようにね」という言葉を思い出しました。自分をわきまえながら、相手の気持ちに配慮する。これは多分、日本人が昔から持っている、世界で生きていくために必要な教養の一つではないかと思うんです。私たちはそういったことを、小さい頃から親や周囲からしつかりと教えられていたのに、つい、都会や海外などの外の世界に目を向けるあまり、忘れてしまっているのかもしれない。

今の日本は、子どもの育て方もそうですし、われわれ大人の生き方についても、自分が生きる上で大切にしている信念や理念を、あまり議論しなくても生きていける世界をつくってしまったのではないかと思います。

市長 恐らく、そういったことを意識するようになれば、直接外国語で読んでみたい話してみたいという、外国語に対するモチベーションが上がってくる。今でさえなくとも、少しも気にすることはないと思います。

市長 ところで、久しぶりに帯広へ戻ってこられて、畜大が変わったと感じることはありますか。奥田 教育環境、研究環境は良い方向に大きく変わっています。畜大の学生は、やりたいことはまだ見つかっていないけれど、「北海道に行きたい」「農業や生物に興味がある」という気概を持った学生が多い気がします。そういう学生たちと接していると、畜大生の気質は昔と変わらない気がします。市長 今のお話を聞いて、北海道には、都会にはないロマンや期待感を抱かせる魅力があるのではな

いかにうれしくなりました。畜大生には、人として生きる上で大切な食や動物など、根本的な人間とのつながりを学びたいという思いがあるんでしょうね。そこに引かれ、求めてくる人たちだから時代が変わってもその気質は変わらないということでしょうか。奥田 まさしくそうだと思います。卒業生が都市へ流出していく大学が多い中で、畜大は7割が道外出身の学生ですが、卒業後、6割の学生が道内にとどまり、その多くは農業関連の職に就いています。畜大は国内唯一の農畜産獣医系の単科大学です。畜大生は、日本が誇る食の生産基地である十勝・帯広の広大なフィールドを舞台に、農畜産現場の実習をはじめ、食や農に関わる人々の熱意や真摯な姿勢に触れることを通じて、十勝・帯広の強さや可能性を感じているでしょう。それが北海道に残る学生を増やしているのではないかな

と思います。市長 畜大は平成28年度、目指す方向性が「地域貢献」とする全国55の国立大学のうち、国からの運営費交付金の配分率がトップの118.6パーセントとなるなど、国からも高い評価を受けています。最近の取り組みを教えてください。奥田 畜大は「食を支え、くらしを守る」人材の育成を通じて、地域や国際社会に貢献するというビジョンを掲げています。私は大学を核として、地域の産業が育ち、地域を活性化していくという形が理想だと思っています。十勝産小麦を原料としたパンの高品質化を目指し、満寿屋商店との共同研究を行っていて、その研究成果として「炊き種製法」を開発し、特許を出願しています。炊き種製法とは、小麦に大量の水を加え、おかゆのような状態にして

【広告】

世界を知ること 自分を知ること



奥田 私も週刊誌を毎月送ってもらっていました。日本を知らないと話ができないんですよね。市長 自分の考えを発言することが世の中でどれだけ重要か、海外で感じた挫折感がとても勉強になりました。

に迷惑をかけないようにね」という言葉を思い出しました。自分をわきまえながら、相手の気持ちに配慮する。これは多分、日本人が昔から持っている、世界で生きていくために必要な教養の一つではないかと思うんです。私たちはそういったことを、小さい頃から親や周囲からしつかりと教えられていたのに、つい、都会や海外などの外の世界に目を向けるあまり、忘れてしまっているのかもしれない。

今の日本は、子どもの育て方もそうですし、われわれ大人の生き方についても、自分が生きる上で大切にしている信念や理念を、あまり議論しなくても生きていける世界をつくってしまったのではないかと思います。

市長 恐らく、そういったことを意識するようになれば、直接外国語で読んでみたい話してみたいという、外国語に対するモチベーションが上がってくる。今でさえなくとも、少しも気にすることはないと思います。

変わらない畜大生の気質



地域に貢献する 帯広畜産大学



共同研究で開発したWAドーナツ

炊いたものを製パンに使用する方法で、ふんわりとした軟らかさが特徴です。平成27年9月には、満寿屋商店が、その特許製法を利用した新食感の「WA^わドーナツ」を商品化しました。

市長 「まちなかに学生を連れてきたい」という思いがS I L Oの始まりでしたよね。海外では、大学を中心としてまちづくりが行われているところがあります。畜大の学生や卒業生たちが、市民と触れ合える環境を作るには、やはり

実際にまちなかに出てきてもらい、若い人たちの社会的な動きを作り出す必要があると思います。

奥田 S I L O事業の一つとして、ジンギスカンの食べ比べを通じて学生や市民、企業、生産者が交流する「ジンギスカン会議」を平成27年から中央公園で開催しています。十勝管内のジンギスカン店や

精肉店の協力のもと、畜大生が企画・運営し、昨年は17店舗が参加して、1500人に来ていただき大好評でした。このほかにも、まちなかで世代や地域、国を越えて人々が出会い、学びあう「まちなか講義室」などを行っています。

S I L O事業は、今はまだ土壌をつくっている段階です。良い土壌にするにはまだ時間がかかるだろうと思いますが、焦らずに、模索しながらやっていきたいと思っています。



市長 まちづくりには人材が重要だと思いますので、行政側からも、特に畜大生が、何かインパクトのあることを発揮できるように支援

していきたいと思っています。学生が何かを発信することに対して市民も寛容でしし、発信力はすぐあると思っています。

農で生きられる
地域をつくる



奥田 米沢市長はフードバレーとちを旗印にまちづくりを進めています。その中で畜大がお役に立てることはなんでしょうか。

市長 最近、ある農業関係者に、「いまだに『フードバレーとかち』ってどういう意味と聞く人がいる」と言われました。その人は、「これまでずっと答えられなかったけれど、自分は『何かしてくれるのを待つのではなくて、これからの十勝の農業をこうしたいと自ら考え、行動することなんだ』と答えている」と言ってくれました。まさにわが意を得たり。

私は、市民や企業が主体的に行動するための後押しをすることが政策だと思っています。十勝・帯広の強みはやはり「食」だと思います。フードバレーとかち、やっ

とここまでできたなと感じています。**奥田** 市民が、自分たちは主体的に何かやるんだという土壌が作られてきたということですね。

市長 最近では金融機関などが、平成27年から行っている「とかち・イノベーション・プログラム」で、「革新者」と呼ばれる面白いことを楽しくやっている人たちを講師に招き、十勝の人材と交流させています。

人は感動や驚きから学ぶことが多いので、革新者の話にまずは驚き、そこから自分にもできるんじゃないかと思始めるわけです。そういう出会いを演出しているの

がとかち・イノベーション・プログラムです。地域の「稼ぐ力」をつくるには、稼ぐための人材をどうやってここに集めるかなんだと思っています。

そのために、もう一度大学で学びたいとか、都会で勤めてみたけれど違うなと感じた人が、十勝・帯広のような土の匂いや自然を感じられる場所で生活したいと思つたときに改めて仕事につながるような勉強が、何年かできる場所をつくりたいと思っています。その

抛点が畜大にあったとしたら、そういう人たちを帯広へ引っ張つてこられるのではないかと思います。**奥田** 面白い切り口ですね。ドイツでは、30歳を過ぎた学生が大勢

いるんです。仕事に就いてから入り直した人もいます。でも、みんな全く焦っていないんですね。しっかり自分の人生を見極めた上で、これをやろうと取り組んでいる。まさに目からうろこが落ちる思いでした。

市長 今日のお話のポイントの一つだと思いますが、何かを始めるのに年齢は関係ないですね。地域の競争力を高める上で、帯広の労働人口を増やすのは重要で

す。もし、畜大に他の大学にはない受け皿があつて、そこで学んだ人たちがスキルを生かせる仕事に就き、こんな風に活躍しているというのが見えてくると、この地域の活性化の一つの方法になると思

います。そんなことを畜大との連携の中で、実現できたら素晴らしいなと思います。**学長** 本当ですね。行政などと連携しながら、新しい価値を生み出していければと思います。教育機

あることです。

「畜大がいつにあるんだ」が
最大の地域の強み



市長 私は、畜大の最大の地域貢献は「帯広は畜大のある地域だからね」といわれることだと思

います。畜大があるから帯広の牛は特別に見えるとか、畜大がそばにあるから安心という地域ブランドですね。

そうすると、起業家などが東京や札幌で会社を起こすより、畜大がある帯広でやる方がマーケットから見てプレミアムがついて、それを活用しにやつてくる。そう考えると、畜大がここにあるとい

うことこそが地域貢献であり、この地域の価値づくりにもつながるものと思っています。**学長** この地域のブランド化に、畜大が貢献できればうれしいで

す。**市長** 十勝・帯広には空気がきれいで水がおいしいなど、いろいろな良さがありますが、そこにもう一つ、都会にはないゆつたりとし

た時間の流れがあると感じています。時間の流れが他と違う分、この地域にはいろんな考え方やチャンスがあると評価されるようになれたらいいと思います。そして、十勝・帯広が多様な人が集まる「人材のるつぼ」になり、新しい価値がどんどん生まれてくる、そんな地域になる可能性が

あると思います。**奥田** 私は大学を、普通よりも3年遅れて、さらに大学院の途中で1年留学したので、合わせて4年遅れて卒業しました。

そのことにすごく劣等感を感じていましたが、海外ではなにも遅れていない。4年間で得た経験はすべて肥やしになっています。海外で、遅れていても余裕を持つて勉強に励む人たちに出会い、なにも焦ることはないじゃないかと気付かされました。

また、新たな発想やチャレンジには前向きな視点が大切です。あとはそれを受け入れられる土壌づくりが必要ですね。おらかさを受け入れる素地がこの地域にはあるように感じますし、十勝・帯広のポテンシャル（潜在力）はやはり高いと思います。そういう点でも、十勝・帯広は先進的なまちだと思っています。

市長 本日の対談で帯広畜産大学、そして学長との距離がぐっと近づいた感じがして大変うれしく思います。これからの十勝・帯広の発展に力を合わせていきたいですね。**奥田** もちろんです。私も精一杯ふるさと十勝・帯広に恩返しできよう頑張りたいと思います。



【広告】

元日の帯広競馬場では、平原太鼓の生演奏、縁起物お菓子の無料配布など、さまざまなサービスを用意しています。入場門ではばんえい騎手たちが皆さんをお出迎え

お正月限定
新春イベント



普段とは一味違う迫力がある

2日(振)は、ばんえい競馬を代表する人気馬が出走する伝統の高重量戦「帯広記念」、3日(火)は、4歳最強馬決定戦「天馬賞」と、スターホースが競い合うビッグレースが続きます。

最高峰の重賞競走
「帯広記念」と「天馬賞」



ばん馬の体から立ち上る湯気と、音を立てて噴き出す真っ白な鼻息が、真冬のばんえい競馬の醍醐味。より力強く迫力あるレースを見ることが出来ます。

問い合わせ

ばんえい振興室(西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825)

元日から5日(木)まで5日連続でばんえい競馬を開催します。

ばんえい十勝
お正月は
ばんえい十勝へ
冬ならではの迫力を堪能

ばんえい十勝

検索

1日(祝)に、NHK総合「元旦特集番組」の生中継が行われます。

タレントのTEAMがやってくる！

「帯広記念」「天馬賞」騎乗騎手が、重賞競走に向けた意気込みを語ります。来てくれたファンの皆さんへ、数量限定のプレゼントもあります。

日 時 1月1日(祝)、10時30分(開門時)〜、先着800人

ジョッキークーシャウトスペシャル

縁起物お菓子の無料配布



騎手が縁起物お菓子を配布

幻想的！朝調教ツアー 参加受け付け中

氷点下の中で、ばん馬の体から立ち上る湯気と朝日が織り成す幻想的な光景を見ることが出来ます。

日 時 3月19日(日)までの毎週日曜日と3月20日(祝)。1月29日までは6時30分〜、2月5日以降は6時〜、いずれも1時間程度
費用 2000円、小・中学生500円(小学生未満無料)
定員 各日先着15人
申し込み 実施前日の18時までに、電話で帯広競馬場・広報担当(☎34・0825)へ。

※悪天候などでツアーを中止することがあります。



開門時刻、レース発走時刻(予定)

日にち	開 門	第1レース	最終レース
1日(祝)	10時30分	11時30分	17時15分
2日(振)	10時	11時10分	17時15分
3日(火)	10時30分	11時30分	17時15分
4日(水)	10時50分	13時	18時40分
5日(木)	12時	13時	18時40分

タレントのTEAMが来場し、第1レースを応援します。

市民と市をつなぐ「情報共有」協働のまちづくりを進めるためには、市民と市が情報を共有することが必要です。市では、広報紙やインターネットなどを活用し、迅速かつ効果的な情報発信に努めているほか、市長や部長が市民の皆さんに政策や事業について直接説明し、意見交換する取り組みなどを実施しています。また、市から市民への一方通行的な情報提供

まちづくり基本条例に
基づく取り組み

条例の主な内容

総則、権利と責務(第1〜6条)

目的、市民の権利・責務、市長の責務など

参加・協働

(第7〜11条)
コミュニティ活動、パブリックコメントなど

情報共有

(第12〜14条)
情報提供、情報公開、説明責任

行政運営、国・道との関係など

(第15〜24条)
総合計画、財政運営、行政評価など

まちづくり基本条例は、市民と市が力を合わせてまちづくりを進めるための共通のルールとして、平成19年4月に施行しました。市民の権利や責務、市長と市職員の責務のほか、市民参加や協働、情報の共有、行政運営などについて定めています。

問い合わせ

企画課(市庁舎5階、☎65・4105)



市民協働の
まちづくり
まちづくり基本条例って何？

帯広市まちづくり基本条例

検索

条例は作って終わりではなく、時代の変化などに対する適応状況を定期的に確認することが重要です。条例施行後10年目となる平成28年度に、市民検討委員会を設置し、条例の点検を行いました。市では、市民検討委員会の提言などを踏まえ、条例の見直しは行わないこととし、今後の取り組みの考え方をまとめ、市ホームページに掲載しています。

条例の点検

地域には、町内会をはじめとする多くの団体があり、環境美化や子どもの見守りなどさまざまな活動を行っています。こうした活動への参加者は近年減少傾向にあるため、市では、新たな担い手の育成を進め、活動の活性化に取り組んでいます。また、市が重要な計画などを策定する際に実施するアンケート調査やパブリックコメント(市民意見提出制度)などを通じて意見を提出することも市民参加の一つです。

マイナンバーは、行政機関などでの社会保障・税・災害対策の手続きに必要です。

社会保障分野
▽児童手当▽介護保険▽生活保護▽ハローワークでの手続きなど

税分野
▽確定申告▽証券口座の開設など

災害対策分野
▽被災者台帳の作成時▽被災者への支援金支給など

通知カードは受け取りましたか
平成27年10月に「通知カード」を郵送しました。まだ受け取っていない人は連絡してください。
問 マイナンバー交付担当（市庁舎3階、☎0570・08・5578）

サービスが広がる マイナンバーカード

制度スタートから1年

国内の全住民に割り当てられたマイナンバー。今後、マイナンバーカードを活用したサービスが拡大される予定です。

問い合わせ 行政推進室（市庁舎5階、☎65・4112）



マイナンバーカードはプラスチック製で顔写真付きのカード

制度に便乗した詐欺に注意

「マイナンバーカードの登録手数料が必要」などと言われ、お金を要求された事例など、マイナンバー制度に便乗した詐欺や勧誘が全国的に報告されています。怪しいと思ったら、警察に相談してください。

注意

マイナンバーの通知や利用手続きで、国や自治体の職員が口座番号、年金・保険の情報などを聞くことはありません。金銭を要求されても決して支払わないでください。

マイナンバーカードの 申請受け付け中



マイナンバーカードは、マイナンバーが必要となごの番号確認はもちろん、公的な身分証明書として使えるほか、国税電子申告・納税システムe-Taxなどの電子申請に利用できます。国は今後、健康保険証の機能をマイナンバーカードに集約することなど、便利な機能の追加を検討しています。

申し込み・交付

平成27年10月に郵送した通知カードに同封された申請書で申し込みか、パソコンやスマートフォン、市内一部の証明写真機（撮影有料）からでも申し込みが可能です。交付は無料です。交付準備が整い次第、はがきでお知らせします。はがきが届いたら、市庁舎にお越しください。申し込みから交付まで3〜4週間ほどかかります。

マイナポータル 平成29年7月開始予定



マイナポータルは、マイナンバーを使った情報のやりとりの記録、行政機関が保有しているあなたの情報、行政機関などから個人に宛てたお知らせを自宅のパソコンなどインターネットを使って確認ができるオンラインサービスです。国は、パソコンがない人でも利用できるように、お客様用の操作機器を市庁舎に設置する考えです。

平成29年7月からサービス開始予定です。



「行財政運営ビジョン」とは
市では、市民や企業の皆さんと連携・協力し、公共サービスを効率的、安定的に提供する取り組みを進めるため、平成25年〜31年度の行財政運営の基本的な考え方や取り組み内容を示す指針「行財政運営ビジョン」（以下、ビジョン）を定めています。

ビジョンの取り組みを進めるための「実施計画」
ビジョンを着実に進めるため、31の実施項目について、毎年度、取り組みの工程や成果の見込みなどを「実施計画」として定め、年度終了後には計画に基づいて取り

行財政改革の 取り組み

帯広市行財政運営ビジョン

行財政運営ビジョンの概要と平成27年度の取り組み状況をお知らせします。

問い合わせ 行政推進室（市庁舎5階、☎65・4112）



組みができたかどうかの評価を行っています。

平成27年度の取り組みの 進み具合

31の実施項目中、「計画に従い取り組みができた」ものが28項目となりました。一方で「一部、計画に従った取り組みができなかった」ものが「市民協働への理解の促進」など3項目となりました。

（図1）

また、取り組みの成果として数値化した指標を設定した24項目について、実績が計画を達成したかどうかの状況をみると、「市民協働の実践事例数」「市ホームページのアクセス総数」など14項目が見込んだ数値を達成し、「広報おびひろ配布率」「窓口や施設の利用者アンケートにおける満足度」など10項目が未達成となりました。

（図2）

検証結果を次に生かす

実施計画の進み具合を振り返り、計画どおりに取り組みを進めることができなかった項目や、見込んだ成果につながらなかった項目については、その要因や課題などを分析して、今後の取り組みに生かしていきます。

また、有識者による「行財政改革推進市民委員会」をはじめ、市

図1 実施項目の取り組み状況（31項目）

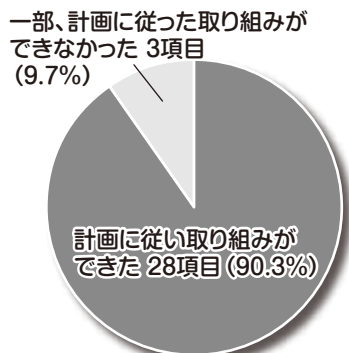
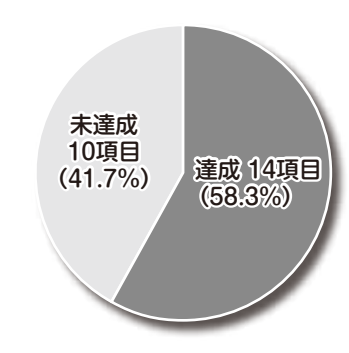


図2 数値化した成果の達成状況（24項目）



民の皆さんからいただいた意見を参考に、今後の取り組みの改善や充実につなげていきます。

詳細は、市ホームページに掲載している「帯広市行財政運営ビジョン平成27年度実施計画推進状況報告書」をご覧ください。

帯広市 行財政改革 検索

平成27年度の 主な取り組み

自主財源の確保を図るため、市ホームページのバナー広告枠や農業委員会だよりの広告枠を拡充したほか、自動販売機設置の入札制度導入施設を増やしました。

新総合体育館の整備運営事業に、民間の資金と自由な発想を生かすPFI事業の導入に向けて「実施方針（案）」を策定しました。

北海道に対し、4ヘクタール以下の農地転用許可事務を市に移譲するよう要望し、平成28年度から許可事務の移譲が実現しました。

これまでの十勝定住自立圏構想の取り組みの成果や課題を踏まえ、「第2期十勝定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。

国民年金保険料後納制度 国民年金の保険料は、納付期限から2年を超えると納めることができませんが、平成30年9月までは過去5年以内の納め忘れた保険料を申請することで納めることができる後納制度があります。詳細は問い合わせください。問帯広年金事務所（西1南1、☎25・8113）

冬の災害に備えるには、夏とは違った防災対策が必要です。食料や飲料水などの備蓄に加え、帽子、手袋、ジャンパーなど、十分な防寒具を用意しましょう。（※頁下参照）

さらに冬は、暴風雪や送電線への着雪などによる停電の危険も高まります。停電が発生した場合、各家庭で使われている90パーセント以上のストーブが使用不能になると言われています。コンセント電源を必要としないポータブルス

冬の防災対策

冬の災害に備える

積雪寒冷地の防災対策

帯広市の冬は氷点下20度を下回ることもあり、災害への備えに加えて、雪や寒さなども考えた冬の防災対策が必要です。

問い合わせ

総務課（市庁舎5階、☎65・4103）



災害時の備えは万全ですか？

非常時には避難所に持ち出しましょう

非常時の持ち出し品を備えましょう

避難所を確認しましょう
市ホームページや「おびひろ暮らしと防災ガイド」で確認できます

トープなどの暖房器具を燃料と併せて準備しましょう。

暴風雪（吹雪）の時の行動

気象情報に注意し、暴風雪が予想されるときは、不要不急の外出を避けましょう。吹雪の時は、吹きだまりで歩けなくなったり、周囲が見えなくなります。車から歩行者が見えにくくなります。やむを得ず歩いて外出するときは、目立つ色の服を着て、できるだけ複数人で行動しましょう。

おびひろ暮らしと防災ガイドで避難所や避難経路を確認

11月中旬までに、市内全世帯に配布した「おびひろ暮らしと防災ガイド」で、地域の避難所を再確認しましょう。

積雪寒冷地の防災対策を再確認しよう

テレビやラジオの気象情報に注意しましょう

車にはスコップやけん引ロープなどを用意しましょう

日頃から車に十分な燃料を補給しておきましょう

玄関や窓周りを除雪し避難口を確保しておきましょう

エンジンがかかる前に車のマフラー周りを除雪しましょう

吹雪など危険を避けるために車内で待機する時は車のエンジンを切りましょう

一酸化炭素中毒に注意

避難所に着いたら非常持ち出し品を活用しましょう

ストーブの周りに可燃物を置かないようにしましょう

悪天候時の屋根の雪下ろしは控えましょう

停電に備えてポータブルストーブを準備しましょう

※ 冬に準備しておきたい非常時の持ち出し品リスト □防寒具（帽子、手袋、ジャンパーなど） □衣類（厚手の服、靴下など） □毛布 □防寒シート □カイロ □ヘルメット □食料・飲料水 □携帯ラジオ □懐中電灯 □常備薬・持病薬 □救急袋 □マスク □簡易トイレ □現金・貴重品など

Information

帯広市からの
お知らせ

1月

申し込み方法など、特に記載のないものは、参加無料ですので当日会場へ直接お越しください。
詳しい内容は、担当課へ問い合わせください。（施設ごとに業務時間が異なります）

市役所代表
☎24・4111、F23・0151
市役所本庁舎業務時間
月～金曜日 8時45分～17時30分
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

往復はがきなど
「申込時の記載事項」

- ①イベント・教室名
（希望する日時・曜日・コースなど）
- ②住所（郵便番号も）
- ③氏名（ふりがな）
- ④電話番号
- ⑤生年月日（スポーツの教室のみ）
- ⑥性別
- ⑦年齢（高校生以下は学校名・学年、
年中、年長なども）
- ⑧保護者氏名（小学生以下の場合）
- ⑨返送先（往復はがきの場合）

特に記載のない申し込みは、申込期限必着で1人（組）1通。直接窓口で申し込む場合は、返信用のはがきをお持ちください。

のサポートが必要な場合は、1月4日（水）～22日（日）までに申し込み。
日1月29日（日）、14時～17時

菓子王国とかち
スイーツフェスタ

十勝管内の菓子店が作るお菓子を、ビュッフェスタイルで堪能できるイベント。

日2月5日（日）、①10時15分～11時30分、②13時～14時15分、③15時45分～17時

場十勝農園（西1南9）

定各先着120人

費一般2000円、小学生以下1000円（3歳以下は無料）

申・問1月31日（火）までに、運営業務委託業者CMC（東1南8、☎23・2323）へ。

担当課観光課（市庁舎7階、☎65・4169）



よりすぐりのスイーツ大集合
（写真はイメージです）

帯広の森・はぐくむの
イベント

小学生以下は保護者同伴。

場・申・問12月25日（日）から各開催日の前日までに、電話で帯広の森・はぐくむ（南町南9線49、☎66・6200）へ。

◆森の寺子屋／雪の巻／

かまくら作りやそり滑りなどの雪遊びで雪を楽しむ。

対小学生

日1月14日（土）、10時～15時

イベント

平成29年帯広市消防出初式

消防車両や消防職団員による行進、放鳩式、木遣りやはしご乗りを行う。8時45分に消防団員を集めるサイレンを鳴らします。

日1月5日（木）、9時～10時30分

場・問消防推進室（西6南6、消防庁舎、☎26・9128）

児童会館のイベント

場・問児童会館（緑ヶ丘2、☎24・2434）

◆冬休みわくわく教室

「凧（た）づくり」「キーホルダーづくり」などの工作教室や、科学実験教室。

日1月8日（日）、10時～15時

◆親子囲碁入門教室

対小・中学生と保護者

日1月9日（祝）、10時～12時

◆もっくん教室

親子で簡単な工作をする。

①ガチャポンマイク、②フェルト

のゆびパペット

対幼児と保護者

日①1月11日（水）、②18日（水）、いずれも10時～11時30分

◆きらきらパペットシアター

幼児から小学校低学年向けの人形劇。

日1月15日（日）、14時～15時

◆親子おもしろ教室「牛乳パックで絵合わせパズル」

牛乳パックで作った箱を組み合わせて六面パズルを作る。

対幼児、小・中学生と保護者

日1月28日（土）、9時30分～11時30分

冬季防災訓練

冬季の災害に備えるため、屋外救助救出訓練などのほか、学校の体育館に宿泊して避難所生活を体験する。中学生以下は保護者同伴。

日1月28日（土）13時30分～29日（日）8時（日帰りは28日の19時まで）

場稲田小学校（西15南39）

定各先着、日帰り50人、宿泊50人

申・問12月26日（月）～1月20日（金）までに、総務課（市庁舎5階、☎65・4103）へ。

「学校給食週間」市民試食会

市民を対象に、地元産食材や姉妹都市の徳島市の特産物を使用した献立を味わう試食会を行う。

日1月25日（水）、12時～13時

定先着32人

費285円

場・申・問1月6日（金）～16日（月）までに、電話で学校給食センター（南町南8線42-3、☎49・1900）へ。

百年記念館のイベント

場・問百年記念館（緑ヶ丘2、☎24・5352）

◆冬の行事あれこれ写真展

冬の帯広における恒例行事について、移り変わりを写真資料を中心に紹介する。

日1月14日（土）～2月5日（日）、9時～17時30分

◆第35回郷土美術展

十勝管内で絵画、工芸などの創造活動をしている人の作品を一堂に集めた展覧会。

日1月20日（金）～2月5日（日）、9時30分～17時（最終日は15時30分まで）

◆第344回ロビーコンサート／

「ツイゴイネルワイゼン」などを演奏。

日1月28日（土）、18時～19時15分

場・問図書館（西2南14、☎22・4700）

図書館のイベント

◆冬休みこども図書館のつどい

人形劇サークル「むぎの穂」による、パネルシアターや人形劇。

日1月12日（木）、11時～11時50分

◆第39回おはなしのせかい

十勝童話会による、手作り紙芝居や語りなどのおはなし会。

日1月15日（日）、幼児・小学校低学年向け11時～12時、小学生以上向け13時30分～15時

◆第7回朗読会＆おしゃべり会

「奥会津の伝承五十嵐七重の語り」から『狐と川獺（かぶす）』などを朗読。視覚や歩行が不自由で図書館内で

定先着15人
費300円

◆雪遊びと餅つき体験

かまくらや雪の滑り台などで遊んだ後、餅つき体験を行う。
日1月15日(日)、10時～12時

定先着15人
費200円

◆スノーシューで冬の森散策

スノーシューを履いて雪深い森を歩き、動物の足跡や木の冬芽などを観察する。
日1月21日(土)、10時～12時

定先着15人

◆森の生き物講座（樹木編）

冬芽の見分け方など、冬ならではの樹木の観察方法を学ぶ。
日1月28日(土)、10時～12時

定先着10人

◆歩くスキー体験

初心者から上級者までを広く対象にした講習会。
日1月29日(日)、9時30分～12時

定先着30人

◆四季の森めぐり～冬～

冬の木や生き物などについて語りながら森を歩く。散策の後には森巡りを振り返るお茶会を開催。
日2月5日(日)、10時～12時

定先着30人
費100円

森の交流館・十勝のイベント

場・問森の交流館・十勝（西20南6、☎34・0122）

◆インターナショナル・トーク（南インド）

インド出身のAFS留学生のサミュさんが、自国の文化や生活、日本との違いなどを紹介。
対中学生以上

日1月14日(土)、18時～19時30分

◆キッズ・プレイグラウンド

歌や絵本などを通じて、外国文化に触れられる遊びの場。今回は市内英会話学校の講師が、New Yearをテーマに、絵本の朗読やゲームなどを行う。
対未就学児と保護者。兄弟も参加可能

日1月21日(土)、10時～11時30分

第28回親と子のわくわく音楽会

親子で楽しめるオーケストラの演奏会。開演前にバイオリンなどの楽器が体験できる。
日1月29日(日)、14時30分～15時30分、楽器体験は13時～14時

場・問市民文化ホール（西5南11、☎23・8111）

高齢者ドライビング体験会

冬の悪路を再現した自動車学校のコースを運転し、冬道の運転技術のアドバイスを受けるほか、運転シミュレーターなどを体験。
対市内在住で運転免許のある65歳以上

日1月30日(月)、9時～12時
場第一自動車学校（稲田町東1）

定先着30人

申・問12月26日(月)～1月20日(金)までに、電話で安心安全推進課（市庁舎3階、☎65・4131）へ。

講座・教室

博物館講座「大昔のとかち」

これまでの発掘調査から明らかになった、十勝・帯広の先史時代の様子を解説する。
日1月21日(土)、14時～16時

場・問百年記念館（緑ヶ丘2、☎24・5352）

薬膳アイヌ料理体験交流会

アイヌ料理を作って試食する。対小学生以上。小学生は保護者同伴
日1月22日(日)、10時～14時
場生活館（柏林台東町2）

定先着30人
費100円

申・問1月4日(水)～19日(木)までに、文化課（市庁舎8階、☎65・4209）へ。

帯広の森市民農園 サラダ館の講習・教室

場・申・問各申込期限までに、往復はがきに「申込時の記載事項」（8頁）を書いて、帯広の森市民農園サラダ館（〒080・2472西22条南6丁目6、☎36・8095）へ。

◆初めての押し花教室

日1月26日(木)、2月23日(木)、3月30日(木)、全3回、10時～12時
定抽選10人

費6480円

申込期限1月16日(月)

◆手作りみそ教室

10キログラムのみそを作る。
日①1月30日(月)、②31日(火)、③2月5日(日)、④6日(月)、⑤7日(火)、いずれも10時～11時30分
定各抽選15人

費4500円

申込期限1月12日(木)

普通救命講習

出血時の止血法や心臓停止、呼吸停止時の救命手当て、AEDの使い方など心肺蘇生法を習得する。
日・場①2月9日(木)、消防庁舎（西

6南6）、②19日(日)、南出張所（西17南41）、いずれも13時30分～16時30分
定①先着50人、②先着30人
費500円

申・問①は1月3日(火)～2月2日(木)まで、②は1月13日(金)～2月12日(日)までに、帯広消防署救急課（西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131）へ。

赤十字救急法講習会

場グリーンプラザ（公園東町3）

定各先着30人

申・問1月11日(水)～2月10日(金)までに、直接社会課（市庁舎2階、☎65・4146）へ。

◆赤十字救急法基礎講習会

心肺蘇生法やAEDの使用方法など、応急手当てを学ぶ。
対15歳以上

日2月11日(祝)、9時～13時

費1500円

◆赤十字救急法救急員養成講習会

救急員の資格取得を目指す。3日間の講習後に検定あり。申込時に救急法基礎講習認定証を持参。
対15歳以上の救急法基礎講習認定証を持っている人

日▽2月11日(祝)、14時～17時▽18日(土)、9時～17時▽19日(日)、9時～17時、全3回
費1700円

語り手育成講習会 ステップアップ小学生向け「理系男子が振り向け選書」

小学校で図書館ボランティアとして活動している人を対象に、科学絵本の選び方などを紹介する。
日2月10日(金)、10時30分～12時
定先着50人

場・申・問1月10日(火)～2月9日

(木)までに、図書館（西2南14、☎22・4700）へ。

市民大学講座

対15歳以上（第49集除く）
場とかちプラザ（西4南13）
申・問各申込期限までに、生涯学習課（市庁舎8階、☎65・4192）へ。

◆第45集「コミュニケーション能力UP！～話し方・聴き方で変わる、会話の本質を捉えたコミュニケーション術～」

早川靖志氏（米国CTI認定プロフェッショナルコーチ）を講師に、会話の本質を捉えて相手の力を引き出す話し方・聴き方のポイントなどを段階的に学ぶ。各区分①②のどちらかを選択。全3回。未就学児（2歳以上）の託児希望者は1月6日(金)までに申し込み。

区 分		日 時
初 級	①	1月15日(日) 18時30分～20時
	②	1月17日(火) 10時～11時30分
中 級	①	1月21日(土) 18時30分～20時
	②	1月25日(水) 10時～11時30分
上 級	①	1月29日(日) 18時30分～20時
	②	2月1日(水) 10時～11時30分

定各先着50人
費500円

申込期限1月13日(金)

◆第46集「現代フランス文学事情」

高橋啓氏（翻訳家／帯広大谷短期大学非常勤講師）を講師に、世界におけるフランスの立ち位置を文学と言葉の面から考える。未就学児（2歳以上）の託児希望者は1月11日(水)までに申し込み。
日1月18日(水)、18時30分～20時

定先着50人

申込期限1月17日(火)

◆第47集「十勝前史・江戸末期・明治・大正・昭和までの歴史を紐解く④」

嶺野侑氏（元帯広市議会議員）を講師に、十勝産業経済界の偉人の高倉安次郎や藤本長蔵、大資本家の高島嘉右衛門、尾崎行雄と十勝の関係などに焦点をあてる。未就学児（2歳以上）の託児希望者は1月12日(木)までに申し込み。

日1月19日(木)、18時30分～20時
定先着150人

申込期限1月18日(水)

◆第48集「地域おこし協力隊が見た十勝の魅力や課題、増加する地方移住者の実態とは」

20年ぶりに十勝にUターンした瀬川友輔氏（市地域おこし協力隊員／Uターン促進員）を講師に、移住者目線で見た十勝の魅力や課題、そして昨今の地方創生チームを解説する。未就学児（2歳以上）の託児希望者は1月13日(金)までに申し込み。

日1月22日(日)、18時30分～20時30分
定先着50人

申込期限1月20日(金)

◆第49集「聴きながら学ぶクラシック音楽～ブラームスの生涯と作品～」

三谷温氏（ピアニスト／昭和音楽大学教授）を講師に、尾崎有飛氏（ピアニスト／昭和音楽大学助教）をゲストに迎え、ブラームスが残した作品とその生涯について2台のピアノによる演奏を交えて分かりやすく解説する。

日1月27日(金)、18時30分～20時
定先着350人
費500円

申込期限1月26日(木)

**帯広市健康スポーツ推進雪中パ
ークゴルフ大会兼第5回財団杯
北海道雪中パークゴルフ大会**

男女別36ホールストロークプレ
イの大会。

日2月5日(日)、8時～14時
場帯広の森研修センター南側広場
定抽選150人

費10000円

申・問1月22日(日)までに、往復は
がきに「申込時の記載事項」(8
頁)を書いて、帯広の森野球場(〒
080・0856南町南7線56番地、帯広の
森運動公園内、☎48・8338)へ。

募 集

1月定期募集分 市営住宅入居者を募集

申し込みは郵送や電話ではでき
ません。印鑑を持参の上、直接お
越しください。

申し込み方法や入居者資格、募
集住宅は問い合わせください。市
営住宅の収入基準を超える人向け
の、特定公共賃貸住宅は随時受け
付けています。

日1月5日(木)、8時45分～17時30
分、6日(金)、8時45分～19時
申・問住宅課(市庁舎3階、☎65
・4190)へ。

平成29年の奨学生を募集

申請できるのは帯広市に住民登
録している人の子どもで、①～③
の要件を全て満たす人。①平成29
年4月に大学、専門学校、高校な
どに在学している、②経済的理由
で修学が難しい(収入・所得の上
限額あり)、③学業が優秀で健康
貸与金額・定員▽大学は月額2・
3・5万円のいずれかで20人以内

▽専門学校は月額3万円で5人以
内▽高校は月額7千円で10人以内
(いずれも定員は予定)

申・問1月4日(水)～2月10日(金)ま
でに、申請書を直接、学校教育課
(市庁舎8階、☎65・4203)へ。
申請書は同課で配布。市ホームペ
ージからも印刷可能。

小規模特認校(清川・愛国小 学校)への入学児童を募集

住所変更することなく、豊かな
自然環境の中で特色ある教育活動
を行っている農村地域の小規模特
認校へ就学することができます。

見学の希望は、直接、各学校に
問い合わせください。清川小学校
(清川町西3、☎60・2035)、

愛国小学校(愛国町基線23、☎64
・4751)

対市街地の小学校を入学先として
指定されている平成29年度の小学
1～6年生

就学期間原則卒業までの1年以上
定各学校・各学年3人程度

申・問1月4日(水)～31日(火)まで
に、学校教育課(市庁舎8階、☎
65・4203)へ。

帯広市職員を募集(保健師、 UIJターンプ・土木)

平成29年4月1日採用予定の総
合職(保健師、UIJターンプ・
土木)を募集。申し込みの前に、
必ず試験案内で資格要件と申し込
み方法を確認してください。試験
案内は、総合案内(市庁舎1階)

と職員課で配布のほか、市ホーム
ページにも掲載。第一次試験は、
帯広会場のほか、東京会場でも実
施します。募集人数・試験会場は
試験案内で確認してください。
申・問1月5日(木)～13日(金)まで

に、試験案内の採用試験申込書を、
直接または郵送で職員課(〒080・
8670西5条南7丁目1番地、市庁舎
5階、☎65・4108)へ。

非常勤の嘱託職員(高齢者学 習相談員)を募集

資格要件などの詳細は、問い合
わせください。

募集人数2人

任用期間4月1日～平成30年3月
31日

申・問1月4日(水)～20日(金)まで
に、履歴書を直接または郵送で生
涯学習課(〒080・8670西5条南7丁
目1番地、市庁舎8階、☎65・4
192)へ。

帯広市特別職報酬等審議会 委員を募集

市長の給料額や市議会議員の報
酬などについて、意見を述べる委
員を募集。

対市内在住の20歳以上で、年4回
程度、平日の会議に出席できる人。
市が設置する審議会などの委員、
市議会議員、市職員は除く
定2人

任期2月から2年間を予定
報酬出席1回につき8500円

申・問1月18日(水)必着で、応募動
機を書いた800字程度のレポー
トとボランティア活動の参加経験
などを記載した履歴書を、直接ま
たは郵送で職員課(〒080・8670西5
条南7丁目1番地、市庁舎5階、
☎65・4107)へ。

第36回おびひろ市民芸術祭 出展作品を募集

5月25日(木)～30日(火)に市民ギャ
ラリーで開催する市民芸術祭への
出展作品を募集。

申・問1月6日(金)～30日(月)まで
に、市民文化ホール、各コミセン、
文化課(市庁舎8階)で配布の申
込用紙を直接または郵送で、市民
文化ホール(〒080・0015西5条南11
丁目48番地、☎23・8111)へ。

私の作品展

絵画、写真、書道、陶芸、押し
花、俳句など展示できるもの。

対市内で活動している個人

イラスト・ギャラリー
アニメ、イラスト。

対市内で活動している個人、団体
私の作品展&映像部門

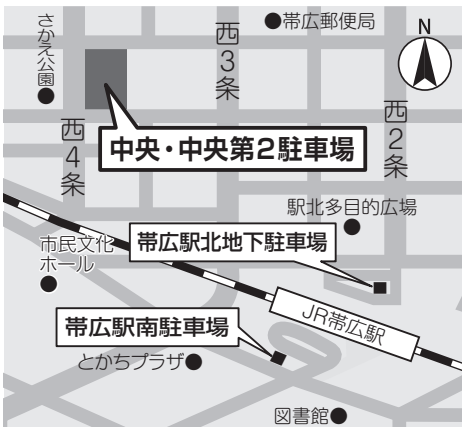
1作品5分程度の映像(スライ
ドショー可)でジャンル不問。
対市内で活動している個人

案 内

中央駐車場、中央第2駐車場 を廃止します

中央駐車場、中央第2駐車場(西
4南9)は、平成29年3月末で廃
止します。なお、市営駐車場共通
のプリペイドカードと回数券は、
引き続き帯広駅北地下駐車場、帯
広駅南駐車場で利用できるため、
払い戻しを行いませんのでご理解
ください。

問商業まちづくり課(市庁舎7階、
☎65・4164)



給付金の申請期限 迫る! 「臨時福祉給付金と障害・ 遺族年金受給者向け給付金」

申請期限は1月10日(火)です。対
象と思われる人には、平成28年9
月末に申請書を送付しています。

申請期限を過ぎると、支給されま
せん。手続きを済ませていない人
は、至急申請してください。

詳細は、市ホームページで確認
するか、問い合わせください。

問社会課(市庁舎2階、☎65・4
233)

1月9日(月)「成人の日」は 通常どおりごみを収集します

月曜日収集地区の人は午前9時
までに分別ルールに基づいて、決
められたごみステーションに出し
てください。

問清掃事業課(西24北4、☎37・
2311)

外国人講師派遣事業を 実施しています

十勝在住の外国人が料理教室や
ゲームなどを通じて、自国の文化
を紹介します。日本語が話せない
講師のときは通訳ボランティアが
同行。1回2時間以内で、講師の
派遣は年2回まで無料。会場費・
材料費などは申込者が負担。

対市内在住者を含む10人以上の自
主的活動グループ

申・問2月28日(火)までに、森の交
流館・十勝(西20南6、☎34・0
122)へ。

20歳になったら国民年金の 手続きを

国民年金は、国内に住所がある
20歳以上60歳未満のすべての人が
加入する制度です。

収入が少なく国民年金保険料の
納付が困難な人には「免除・納付
猶予制度」、学生の人には「学生
納付特例制度」があります。詳し
くは相談してください。

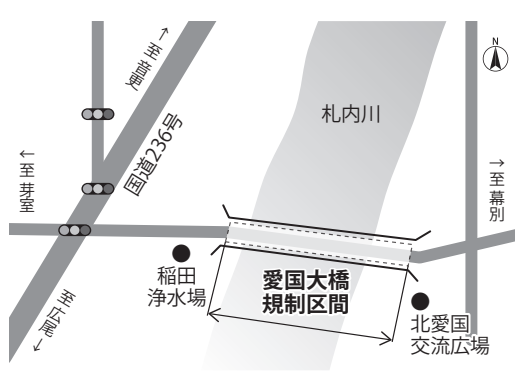
20歳前に就職して厚生年金に加
入している人は、国民年金の加入
手続きは不要です。

問戸籍住民課(市庁舎1階、☎65
・4143)、帯広年金事務所(西
1南1、☎25・8113)

愛国大橋(愛国町)が3月10日 まで片側交互通行となります

愛国大橋の補修工事により、片
側交互通行規制(昼夜間)を実施
しています。当初は1月20日(金)ま
での予定でしたが、追加工事が必
要になったため、3月10日(金)まで
規制を延長します。ご理解とご協
力をお願いします。

問土木課(市庁舎6階、☎65・4
183)



ご意見募集・パブリックコ メント(市民意見提出制度)

パブリックコメントは、市民の
皆さんの意見を市政に反映させる
制度です。住みよいまちにするた
めに、意見をお聴かせください。
詳細は12頁に掲載しています。

情報ピックアップ

意見を募集します
パブリックコメント(市民意見提出制度)

問い合わせ 各担当課

内容は各コミセンや市ホームページで公開

原案などの資料や募集要領は、各コミセンや担当課などのほか、市ホームページで公開します。

意見は郵送・直接・ファクス・Eメールで

意見募集期間内に、案件名、氏名、住所、意見の箇所と内容を書いて、担当課へ提出してください。

帯広市地域公共交通網形成計画(原案)

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通を目指して計画を策定します。

募集期間 1月4日(水)～2月2日(木)
提出先・担当課 商業まちづくり課
(市庁舎7階、☎65・4165)

「バス路線見直し」住民説明会

計画に基づくバス路線の見直し案について、住民説明会を開催。

日 1月22日(日)、昼の部14時～15時30分、夜の部18時～19時30分
場 とかちプラザ(西4南13)
問 商業まちづくり課(市庁舎7階、☎65・4165)

(仮称)帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針(原案)

児童生徒数の減少や学校の小規模化が進む中、適正な学校規模を維持し良好な教育環境を確保するため、小中学校の適正規模の確保等に関する基本方針を策定します。
募集期間 1月4日(水)～2月2日(木)
提出先・担当課 企画総務課(市庁舎8階、☎65・4201)

「基本方針(原案)」地域説明会

(仮称)帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針の策定の検討にあたり、広く地域の声を聴くため、地域説明会を開催。時間はいずれも1時間30分程度。

開催日時		場 所
1月19日(木)	19時～	南コミセン(西10南34)
1月20日(金)	19時～	東コミセン(東7南9)
1月21日(土)	10時30分～	とかちプラザ(西4南13)
	14時～	西帯コミセン(西23南2)
1月23日(月)	19時～	大正農業者トレーニングセンター(大正本町西1)
1月24日(火)	19時～	川西農業者研修センター(川西町西2)
1月25日(水)	19時～	啓北コミセン(西13北2)
1月26日(木)	19時～	緑西コミセン(西17南4)

65問企画総務課(市庁舎8階、☎4201)



カメラレポ

Obihiro Camera Report

「まちなか」で元気になりましょう



高齢者の皆さんが外出する機会を増やし、社会参加・社会活動につなげるための施設、高齢者いきいきふれあい館「まちなか」(西2南7)がオープンし、初日から、カフェでのだんらんや介護予防運動に参加しようと、大勢の人が集まりました。

1階はだんらんや休憩などで自由に過ごせるカフェスペース、2階は趣味や特技を生かした講座や教室が開催されるスペースです。利用者からは「バス停が近いので来やすい。まちなかに高齢者が気軽に立ち寄れる場所ができてありがたい」との声がありました。(12月1日、帯広信金ビル)



大きな看板が目印



帯広児童劇団ミュージカル「かんでら」

帯広児童劇団の第31回公演として、ミュージカル「かんでら」が披露されました。この日に向けて日々厳しい練習を重ねてきた子どもたちの演劇を見ようと、昼夜2回の公演に900人余りの観客が集まりました。小学3年生から高校3年生までの20人の団員の熱演に、観客から温かい拍手と声援が送られました。(11月27日、市民文化ホール)



とかち・市民「環境交流会」2016

環境を楽しく学ぼうと今年で15回目を向かえたこのイベントに、約1100人が訪れました。

展示・体験コーナーや小中学生による活動発表などを通して、自然環境との関わりを知

ることができるほか、電気や水素燃料で動く自動車の試乗、エコ体験教室など、環境への理解を深めるさまざまな催しがあり、親子で参加する姿が多く見られました。(11月23日、とかちプラザ)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)

広告